

2015年度 都市計画研究会

<年間テーマ>

コンパクトシティの実現と「立地適正化計画」

第2回研究会

コンパクトシティ政策の 課題と展望

都市における今後のまちづくりは、土地利用とともに福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の考えで都市づくりを進めていくことが重要であり、2015年度の都市計画研究会では、コンパクトシティの実現と「立地適正化計画」の取り組みについて考えていくこととしました。

このたびの第2回は、長年にわたりコンパクトシティの研究に取り組むとともに、国土交通省社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会の臨時委員等として立地適正化計画の審議にも関わられてきた筑波大学谷口守教授をお招きして、政府のコンパクトシティ政策導入の経緯、その具体的な取り組みとしての立地適正化計画における取り組みに向けた展望と課題について、お話をいただきます。

日時：2016年2月27日（土）15：00～17：00

場所：広島大学東千田キャンパス 4階404講義室

住所：広島市中区東千田町1-1-89

アクセス：市内電車／日赤病院前下車 徒歩約3分

広電バス／日赤前下車 徒歩約5分

講演者：谷口 守 氏（筑波大学システム情報系社会工学域 教授）

京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得退学。京都大学助手、カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、筑波大学講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授などを経て、2002年岡山大学教授、2009年筑波大学教授。工学博士。専門は交通計画、環境計画。社会資本整備審議会臨時委員、IFHP（国際住宅・都市計画連合）評議員、日本都市計画学会学術委員長・同理事等を歴任。著書に「入門 都市計画」（単著、森北出版、2014）など多数



参加費：無料

参加申込先：渡邊一成（福山市立大学内） E-mail：kz-watanabe@fcu.ac.jp

※資料準備のため、申込みメールをお願いします。2月19日（金）まで。

一般参加可能です。申込みメールに、お名前、所属等、連絡先（電話番号、E-MAIL）をご記入の上、上記メールアドレスまで送付下さい。

主催：公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部

担当：企画・研究委員会

事務局：広島市西区楠木町1丁目14-10-202 株式会社地域計画工房内